

岐阜県地域公共交通協議会の取組状況及び平成29年度事業評価の概要等

平成30年1月18日 岐阜県地域公共交通協議会

1 地域公共交通網の維持・確保に向けた方針・平成29年度の主な取組

(1) 地域公共交通網の維持・確保に向けた方針

地域の公共交通を確保していくために、鉄道、路線バス、市町村バス等がそれぞれの特性に応じて機能を発揮し、全体として地域の実情に合った、住民が利用しやすい交通網を形成することが重要であり、地域に最適な公共交通網のあり方について、交通機関の機能分担や相互連携、利用促進に向けた活性化策などについて協議を進め、課題のある路線（地域）については個別に路線再編等の検討を行っていく。

(2) 平成29年度の主な取組・効果

県単独補助を含む4地域鉄道の施設設備等及びバス路線858系統の運行経費に補助して維持・確保に努め、また、県協議会において関係者間で課題の共有・協議を行い、地域の実情に応じた住民が利用しやすい地域交通網の形成を図った。

県協議会

広域バス路線の維持・確保に向けた協議の実施

- 課題のある広域バス路線のうち、存続が危ぶまれるもの等一定の基準に基づき17系統を協議対象として選定。
- 西濃地域分科会において、地域間幹線系統を中心とした平成29年度の実績報告、課題の共有及び今後の取組等を協議。

関係者間で課題共有

- 地域間幹線系統の現状と課題を共有するため、輸送実績の推移等を集約したデータベースを関係会員（乗合バス事業者、沿線市町村、岐阜県バス協会、岐阜運輸支局）に提供。
- 地域間幹線系統を中心としたバス路線の生産性向上に取り組むため、地域分科会単位で乗合バス事業における課題を共有。

県

鉄道・バス路線の維持・確保

- 地域鉄道事業者の施設設備に対する補助
- 幹線的・支線的広域バス路線及び市町村が事業主体のバス路線の運行に要する経常費用の赤字額補助
- 広域的視点に立った市町村への助言

現状と課題の把握

- 課題のある広域バス路線の実態調査
- 乗合バス事業者・市町村へのヒアリング実施

利用促進

- 地域鉄道の利用促進対策事業に対する補助

2 平成29年度事業評価結果（地域間幹線系統）の概要

| 補助対象事業者 | 対象系統数 | 事業実施の適切性 | 目標・効果達成状況 |
|------------|-------|--|--|
| 岐阜乗合自動車(株) | 25 系統 | A 25 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 8 系統 32.0% B 13 系統 52.0% C 4 系統 16.0% |
| 東濃鉄道(株) | 9 系統 | A 9 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 2 系統 22.2% B 7 系統 77.8% C 0 系統 0.0% |
| 名阪近鉄バス(株) | 7 系統 | A 7 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 0 系統 0.0% B 6 系統 85.7% C 1 系統 14.3% |
| 濃飛乗合自動車(株) | 9 系統 | A 9 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 0 系統 0.0% B 6 系統 66.7% C 3 系統 33.3% |
| 北恵那交通(株) | 4 系統 | A 4 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 2 系統 50.0% B 2 系統 50.0% C 0 系統 0.0% |
| (株)白鳥交通 | 2 系統 | A 2 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 0 系統 0.0% B 2 系統 100.0% C 0 系統 0.0% |
| (株)日本タクシ | 2 系統 | A 2 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 2 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% |
| 加越能バス(株) | 1 系統 | A 1 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 1 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% |
| 合計 | 59 系統 | A 59 系統 100.0% B 0 系統 0.0% C 0 系統 0.0% | A 15 系統 25.4% B 36 系統 61.0% C 8 系統 13.6% |

県協議会における事業評価の実施方法

1 県協議会における評価の考え方

(評価の目的等)

県協議会では、広域的な公共交通の確保維持を図るため、路線の維持確保対策や利用促進対策を検討する際の基準の一つとして評価を活用。

(対象路線)

国庫補助基準を満たす路線（地域間幹線系統）を中心とした広域バス路線

2 目標（指標）及び評価基準

下記の各目標（指標）について、原則として基準年度より現状維持として数値を設定し、下記評価基準に基づき評価を実施。

※各指標は、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施に向けて（ガイダンス）」（国土交通省）従い設定。

(目標（指標）)

| 目標（指標） | 目的 |
|----------|------------------|
| ①年間の利用者数 | 公共交通利用者数の維持・増加 |
| ②事業の収支率 | 事業効率の向上 |
| ③定期利用率 | 通勤・通学者への移動手手段の確保 |

(評価基準)

①事業実施の適切性

- A 事業計画どおりに運行されたもの
- B 事業者の責に帰すべき事由により、一部事業計画どおりに運行されなかったもの
- C 事業者の責に帰すべき事由により、事業計画どおりに運行されなかったもの

②目標・効果達成状況

- A 目標数値を達成できたもの
- B 目標数値を達成できていない点があったもの
- C 目標数値を達成できなかったもの

3 今後の主な取組（予定）

県協議会において新たに鉄道・バスの利用促進及び市町村の交通事業担当者の人材育成に取り組み、また、当県のバス路線に対する補助制度の見直しにより幹線的広域バス路線への支援を強化する。（平成30年度予算成立前のため、予定）

県協議会

広域バス路線の維持・確保に向けた協議の実施

- 平成29年度実績を踏まえ、一定の基準に該当する系統を協議対象として新たに選定。
- 県において現在実施している広域バス路線に関する実態調査結果を踏まえ、協議対象系統を中心に生産性向上を含め、今後の存続の在り方を協議。

関係者間で課題共有

- 輸送実績の推移等を集約したデータベースを年2回程度を目安に更新し、関係者間で課題を共有。

鉄道・バスの利用促進事業の実施

市町村の交通事業担当者研修会の開催

県

鉄道・バス路線の維持・確保

- 地域鉄道事業者の施設設備に対する補助
- 幹線的・支線的広域バス路線（幹線的広域バス路線への支援強化）及び市町村が事業主体のバス路線の運行に要する経常費用の赤字額補助
- 広域的視点に立った市町村への助言

現状と課題の把握

- 乗合バス事業者・市町村へのヒアリング等によりバス路線及び乗合バス事業の現状と課題を把握

利用促進

- 地域鉄道の利用促進対策事業に対する補助
- バスの利用促進の取組PR

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月18日

(別添1)

協議会名:岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|------------|---|-------------|----------|--------------|-------------------------|--|---|----|-------------|----------|-----------------|----------|-------------------------|--------------|--|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | 達成率 | | 理由等分析 | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 1 | 真正大縄場 | JR岐阜 | みどり公園 | リバーサイドモール | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 93,000人 | 94,907人 | 93,930人 | 102.1% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 87.0% | <u>86.0%</u> | 88.4% | | | | 98.9% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | 40.3% | 39.0% | | | | 106.1% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 2 | 真正大縄場 | 大野バスセンター | みどり公園 | JR岐阜 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 102,000人 | 105,458人 | 103,625人 | 103.4% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したほか、沿線の岐阜市による高校生の定期券補助の継続等、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 74.0% | 75.4% | 76.1% | | | | 101.9% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 35.0% | 37.0% | 35.0% | | | | 105.7% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 3 | 真正大縄場 | リバーサイド | 宗慶 | JR岐阜 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 64,000人 | 65,129人 | 65,231人 | 101.8% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 74.0% | <u>72.5%</u> | 74.6% | | | | 98.0% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 33.0% | 34.3% | 34.0% | | | | 103.9% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 4 | 美江寺穂積 | JR岐阜 | 本田団地 | 巣南庁舎 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 73,000人 | 77,127人 | 74,763人 | 105.7% | 人件費及び燃料費の増加。 | ・沿線市町(岐阜市、瑞穂市)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 ・事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 56.0% | 57.6% | 56.9% | | | | 102.9% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 21.0% | 24.4% | 22.0% | | | | 116.2% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 5 | 高美 | JR岐阜 | 女子大武芸川温泉 | 中濃庁舎 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 161,000人 | <u>152,702人</u> | 157,290人 | 94.8% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 75.0% | <u>72.0%</u> | 74.5% | | | | 96.0% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 32.0% | 34.6% | 34.0% | | | | 108.1% | | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|------------|---|-------------|-------|--------------|-------------------------|--|---|----|-------------|----------|-----------------|----------|-------------------------|--|--|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | 達成率 | | 理由等分析 | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 6 | 岐阜美濃 | 名鉄岐阜 | 北一色 | 中濃庁舎 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 93,000人 | <u>92,417人</u> | 94,973人 | 99.37% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 45.0% | <u>43.9%</u> | 46.1% | | | | 97.6% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 23.0% | 24.4% | 24.0% | | | | 106.1% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 7 | 高速八幡 | 名鉄岐阜 | 東海北道 | 郡上白鳥 | 事業者において、当該系統が経由する観光地郡上八幡にある店舗で利用できるクーポン券と乗車券をセットにした企画乗車券を販売し、利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 44,000人 | <u>39,873人</u> | 43,485人 | 90.6% | 平成29年10月に事業者と当該系統付近を運行する長良川鉄道株式会社が業務連携・協力する覚書を締結したところであり、県内有数の観光地の一つである郡上八幡地域への観光誘客の面で協力して利用促進及び収入増加に取り組みながら、地域住民の生活に必要な交通手段を維持していく。 | |
| | | ② 事業の収支率(%) | 46.0% | 80.2% | 83.4% | | | | 174.3% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 8.0% | 9.7% | 9.0% | | | | 121.3% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 8 | 高速八幡 | 名鉄岐阜 | 東海北道 | ホテル郡上八幡 | 事業者において、当該系統が経由する観光地郡上八幡にある店舗で利用できるクーポン券と乗車券をセットにした企画乗車券を販売し、利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 66,000人 | <u>59,205人</u> | 62,145人 | 89.7% | 平成29年10月に事業者と当該系統付近を運行する長良川鉄道株式会社が業務連携・協力する覚書を締結したところであり、県内有数の観光地の一つである郡上八幡地域への観光誘客の面で協力して利用促進及び収入増加に取り組みながら、地域住民の生活に必要な交通手段を維持していく。 | |
| | | ② 事業の収支率(%) | 47% | 79.9% | 77.4% | | | | 170.0% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 22% | 22.4% | 22.0% | | | | 101.8% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 9 | 岐阜川島 | 名鉄岐阜 | 中野 | 川島松倉 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | C | ① 利用者数(人/年) | 34,000人 | <u>32,290人</u> | 34,037人 | 95.0% | ・人件費及び燃料費の増加。 ・定期利用者が減り、利用者数が減少。 | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・沿線市町(岐阜市、岐南町、笠松町、各務原市)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 ・平均乗車密度が2.3人と、補助対象経費のカット対象外となる基準5人を大きく下回っているため、事業者において沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 39.0% | <u>38.3%</u> | 38.9% | | | | 98.2% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 15.0% | <u>13.6%</u> | 17.0% | | | | 90.7% | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 10 | 北方河渡 | 芝原6丁目 | 北方BT | JR岐阜 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 119,000人 | <u>118,364人</u> | 114,658人 | 99.5% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 74.0% | <u>73.1%</u> | 71.8% | | | | 98.8% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 17.0% | 19.6% | 18.0% | | | | 115.3% | | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | |
|------------|---|---------------|-------|--------------|-------------------------|--|---|----|-------------|----------|-----------------|----------|-------------------------|--|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | 達成率 | | 理由等分析 |
| 岐阜乗合自動車(株) | 11 | 西郷 | JR岐阜 | 尻毛駅 | 西郷 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 135,000人 | 138,559人 | 138,715人 | 102.6% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 87.0% | 87.8% | 90.0% | 100.9% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 33.0% | 36.8% | 35.0% | | | | 111.5% | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 12 | 茜部三田洞 | 三田洞団地 | 西鶉 | 下佐波 | 系統再編及び事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | C | ① 利用者数(人/年) | 520,000人 | <u>321,355人</u> | 273,213人 | 61.8% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 ・人件費及び燃料費の増加。 ・H27.9岐阜運転者講習センター移転により利用者が減少。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 90.0% | <u>81.2%</u> | 86.5% | 90.2% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 28.0% | <u>27.5%</u> | 29.0% | | | | 98.2% | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 13 | 茜部三田洞 | 三田洞団地 | 西鶉 | カラフルタウン | 系統再編及び事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 151,000人 | 230,663人 | 216,366人 | 152.8% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 90.0% | 90.1% | 87.4% | 100.1% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 20.0% | 24.2% | 25.0% | | | | 121.0% | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 14 | 尾崎団地 | 下川手 | 県病院 | 各務原高校 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 58,000人 | 58,157人 | 59,446人 | 100.3% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 人件費及び燃料費の増加。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 71.0% | <u>68.0%</u> | 70.7% | 95.8% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 34.0% | <u>33.4%</u> | 33.0% | | | | 98.2% | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 15 | 尾崎団地 | JR岐阜 | 県病院 | 諏訪山団地 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 124,000人 | 127,591人 | 127,089人 | 102.9% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 人件費及び燃料費の増加。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 79.0% | <u>77.1%</u> | 79.3% | 97.6% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 20.0% | 22.6% | 22.0% | | | | 113.0% | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 16 | 尾崎団地 | JR岐阜 | 県病院 | 各務原高校 | 事業者による免許返納者割引の開始等、事業者及び沿線市町村が利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 48,000人 | 48,687人 | 49,593人 | 101.4% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 人件費及び燃料費の増加。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 64.0% | <u>63.7%</u> | 66.4% | 99.5% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 26.0% | 27.1% | 27.0% | | | | 104.2% | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|--------------------------------|---|---------------|-------|--------------------|-------------------------|-----------|---|--------------|----------|----------------|----------|--------|---|
| | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | | | 【参考】H28実績 | 達成率 | 理由等分析 | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 17 | 大野穂積 | 大野BC | 北方B T・モレ ラ岐阜 | 穂積 駅・瑞 穂ター ミナル | A | A | ① 利用者数(人/年) | 39,000人 | 40,989人 | 39,407人 | 105.1% | *県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 *沿線市町(瑞穂市・本巣市・北方町・大野町)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 *事業者による企画乗車券の販売や沿線の大野町による高校生の定期券代補助等の取組により、5年間で輸送量が徐々に改善(H25:16.2→H29:19.0)しているが、平均乗車密度が2.3人と依然として補助対象経費のカット対象外となる基準5人を大きく下回っているため、県協議会地域分科会において、引き続き利用促進や利便性向上に向けた検討を行っていく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | × | ② 事業の収支率(%) | 34.0% | | | 35.1% | 35.0% | 103.2% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 13.0% | 14.4% | 14.0% | | | 110.8% | | | | | |
| 岐阜乗合自動車(株) | 18 | 松籟加納 | 岐南営業所 | 下川手 | 松籟団地 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 154,000人 | 157,193人 | 153,104人 | 102.1% | 事業者において、沿線の岐阜市の観光施策に協賛し、期間限定で500円を450円で販売した均一区間乗り放題切符を、期間終了後も450円で販売継続したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | × | ② 事業の収支率(%) | 85.0% | | | 85.3% | 85.2% | 100.4% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 29.0% | 31.0% | 31.0% | | | 106.9% | | | | | |
| 【自主運行バス(関市・山県市)】 岐阜乗合自動車(株) | 19 | 板取 | 岐北病院 | 岩佐口 | 洞戸車庫 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 61,000人 | <u>56,062人</u> | 60,869人 | 92% | 事業主体の山県市において、平成29年度中に策定予定の地域公共交通網形成計画位置付けられており、新たに山県市内に整備するバスターミナルを経由することにより地域内交通等の他路線への乗り継ぎをできるようにするなど、利便性向上及び利用促進に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | × | ② 事業の収支率(%) | 34.0% | | | <u>32.9%</u> | 33.2% | 96.8% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 27.0% | 29.6% | 20.5% | | | 109.6% | | | | | |
| 【自主運行バス(山県市)】 岐阜乗合自動車(株) | 20 | 岐北 | 岐北病院 | 谷合 | 塩後 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 60,000人 | <u>55,820人</u> | 58,908人 | 93% | 事業主体の山県市において、平成29年度中に策定予定の地域公共交通網形成計画位置付けられており、安全上の観点から使用車両の見直しを検討しつつ、新たに山県市内に整備するバスターミナルを経由することにより地域内交通等の他路線への乗り継ぎをできるようにするなど、利便性向上及び利用促進に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | × | ② 事業の収支率(%) | 34.0% | | | <u>31.3%</u> | 32.6% | 92% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 26.0% | 28.2% | 27.8% | | | 108% | | | | | |
| 【自主運行バス(山県市)】 岐阜乗合自動車(株) | 21 | 岐北 | 岐北病院 | 岩佐小原 | 谷合 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 36,000人 | <u>34,864人</u> | 35,686人 | 97% | 事業主体の山県市において、平成29年度中に策定予定の地域公共交通網形成計画位置付けられており、安全上の観点から使用車両の見直しを検討しつつ、新たに山県市内に整備するバスターミナルを経由することにより地域内交通等の他路線への乗り継ぎをできるようにするなど、利便性向上及び利用促進に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | × | ② 事業の収支率(%) | 43.0% | | | <u>40.4%</u> | 40.8% | 94% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 26.0% | 28.9% | 26.9% | | | 111% | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | |
|------------------------------|---|----------|----------|---------------|-------------------------|--|---|-----|-------------|---------|----------------|---------|-------------------------|---|
| | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | | | 【参考】H28実績 | 達成率 | 理由等分析 | | | | | |
| 【自主運行バス(瑞穂市)】 岐阜乗合自動車(株) | 22 | みずほバス | 穂積駅 | 本田唐栗 | 穂積駅 | 瑞穂市において、市職員が実施する年2回の乗降調査に加え、接続する他の幹線系統と併せて住民アンケートを実施し、利用実態や住民ニーズの把握に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 24,000人 | 26,082人 | 25,269人 | 108.7% | |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 11.0% | 11.4% | 10.7% | 103.6% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | | | | | |
| 【自主運行バス(瑞穂市)】 岐阜乗合自動車(株) | 23 | みずほバス | 穂積駅 | 十九条古橋 | 穂積駅 | バスを利用して沿線地域へ日帰り旅行するモデルコースを設定(期間中にバスの乗り方教室を併せて実施)し、利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 23,000人 | 26,375人 | 25,377人 | 114.7% | |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 10.0% | 11.9% | 10.6% | 119.0% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | | | | | |
| 【自主運行バス(関市)】 岐阜乗合自動車(株) | 24 | 関上之保 | 中濃病院 | 東山 | 川合車庫 | バスを利用して沿線地域へ日帰り旅行するモデルコースを設定(期間中にバスの乗り方教室を併せて実施)し、利用促進に努めた。 | A | C | ① 利用者数(人/年) | 41,000人 | <u>38,197人</u> | 41,920人 | 93% | 人件費及び燃料費の増加。 ・輸送量が14.6人と補助対象となる下限15人を下回ったため、平成32年度から補助対象外となる。 ・営業路線と比較して平均賃率が低いものの、平均乗車密度は1.9人と補助対象経費のカット対象外となる基準5人を大きく下回っているため、事業主体の関市において住民ニーズに応じた路線の再編を行い利便性を向上し、利用促進及び収益増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 9.0% | <u>7.7%</u> | 8.2% | 85.56% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | | | | | |
| 【自主運行バス(各務原市)】 岐阜乗合自動車(株) | 25 | ふれあいバス川島 | 各務原市役所前駅 | くすり博物館/河川環境楽園 | 新那加駅北口 | 各務原市において、バス乗り方教室や、意見箱の車内設置等により利用促進及びニーズ把握に努めた。 | A | C | ① 利用者数(人/年) | 30,000人 | <u>25,321人</u> | 24,320人 | 84% | 対前年度比では利用者数が増加し、乗合率がやや改善。 事業主体の各務原市において、利用状況を把握するため実態調査を行ったところであり、他路線との調整を含めて利便性向上に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 15.0% | <u>9.5%</u> | 8.9% | 63.0% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | | | | | |
| 東濃鉄道(株) | 26 | 滝呂台 | 多治見駅前 | 滝呂台 | 笠原車庫前 | 事業者及び沿線の多治見市が昼間運賃の割引制度の継続実施及び同制度の周知を行い、利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 85,000人 | 87,707人 | 87,360人 | 103% | 事業者及び沿線の多治見市が協力し、継続して昼間運賃の割引制度の実施・周知を行い、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 88.0% | 88.8% | 90.4% | 100.9% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 41.0% | 47.6% | 39.9% | 116.1% | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | | |
|-----------|---|---------------|-------|--------------|-------------------------|---|---|----|-------------|--------------|----------------|-------------------------|------|---|--|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | | 達成率 | 理由等分析 | |
| 東濃鉄道(株) | 27 | 笠原 | 多治見駅前 | 笠原車庫前 | 梅平団地 | 事業者及び沿線の多治見市が昼間運賃の割引制度の継続実施及び同制度の周知を行い、利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 41,000人 | <u>32,721人</u> | 43,045人 | 80% | 人件費及び燃料費の増加。 | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・平均乗車密度が2人と、補助対象経費のカット対象外となる基準5人を大きく下回っているため、事業者及び沿線の多治見市が協力し、継続して昼間運賃の割引制度の実施・周知を行うなど、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく必要がある。 |
| | | | | ② 事業の収支率(%) | | | | | 62.0% | <u>50.4%</u> | 64.0% | 81.3% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 13.0% | 14.4% | 12.8% | | | | 110.8% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 東濃鉄道(株) | 28 | 笠原 | 多治見駅前 | 笠原役場前 | 東草口 | 事業者及び沿線の多治見市が昼間運賃の割引制度の継続実施及び同制度の周知を行い、利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 104,000人 | 113,667人 | 115,525人 | 109% | | 事業者及び沿線の多治見市が協力し、継続して昼間運賃の割引制度の実施・周知を行い、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | | | ② 事業の収支率(%) | | | | | 93.0% | 95.5% | 98.1% | 102.7% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 22.0% | 24.9% | 22.7% | | | | 113.2% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 東濃鉄道(株) | 29 | 明智 | 瑞浪駅前 | 川折 | 明智駅前 | 沿線の恵那市の市制放送で路線バスをPRする番組を制作し、利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 104,000人 | 117,720人 | 113,719人 | 113% | | 接続するJRとの乗継改善などにより、利便性の向上に努めていく。 |
| | | | | ② 事業の収支率(%) | | | | | 47.0% | 54.4% | 55.1% | 115.7% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 48.0% | <u>47.4%</u> | 44.5% | | | | 98.8% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 東濃鉄道(株) | 30 | 駄知 | 多治見駅前 | 土岐市駅前 | 駄知 | 沿線の土岐市において、中学生の高校体験入学時にバス通学を案内するチラシを配り、通学利用の促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 38,000人 | 43,796人 | 39,898人 | 115% | 土岐商業高校の学生用無料駐輪場が整備され、学生の自転車及び電車利用者が増加(雨の日は親が送迎) | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・事業者と土岐市が協力して乗継割引の実証実験や免許返納者への回数券の配布を開始したところであり、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | | | ② 事業の収支率(%) | | | | | 58.0% | 59.4% | 59.4% | 102.4% | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 6.0% | <u>4.5%</u> | 4.3% | | | | 75.0% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | ○ | | | | | | | | | | | |

協議会名：岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | | |
|-----------|---|-------------------|-----------|-----------|-------------------------|-----------|---|----|-------------|---------|----------------|-------------------------|--------|------------------------------|---|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | | 達成率 | 理由等分析 | |
| 東濃鉄道(株) | 31 | 瑞浪＝ 駄知＝ 多治見 | 瑞浪駅前 | 駄知 | 多治見駅前 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 43,000人 | 50,983人 | 45,450人 | 119% | 人件費及び燃料費の増加。 | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・事業者と土岐市が協力して免許返納者への回数券の配布を開始するなど、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 59.0% | <u>58.7%</u> | 57.7% | 99.5% | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 19.0% | 33.4% | 20.6% | 175.8% | | |
| 東濃鉄道(株) | 32 | 瑞浪＝ 駄知＝ 多治見 | 駄知 | 下石貢 | 多治見駅前 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 46,000人 | 59,399人 | 49,997人 | 129% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者と土岐市が協力して免許返納者への回数券の配布を開始したところであり、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 80.0% | <u>54.9%</u> | 89.2% | 68.6% | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 32.0% | <u>18.0%</u> | 31.4% | 56.3% | | |
| 東濃鉄道(株) | 33 | 下半田川 | 多治見駅前 | 総合体育館前 | 下半田川 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 99,000人 | <u>92,982人</u> | 105,838人 | 94% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者及び沿線の多治見市が協力し、継続して屋間運賃の割引制度の実施・周知を行い、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 76.0% | 81.5% | 81.3% | 107.2% | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 24.0% | 24.1% | 20.9% | 100.4% | | |
| 東濃鉄道(株) | 34 | 学園都市 | 多治見駅前 | タウン滝呂センター | 土岐プレミアム・アウトレット | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 79,000人 | 98,182人 | 105,838人 | 124% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者及び沿線の多治見市が協力し、継続して屋間運賃の割引制度の実施・周知を行い、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 86.0% | <u>80.8%</u> | 81.3% | 94.0% | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 0.0% | 0.6% | 0.3% | 0% | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 35 | 羽島 | ソフトピアジャパン | 大垣駅前 | 岐阜羽島駅 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 80,000人 | 87,437人 | 85,851人 | 109% | 運転者の待遇改善や募集採用にかかる経費及び燃料費が増加。 | ・沿線市町(大垣市、安八町、羽島市)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 ・事業者において、運転免許自主返納者の運賃割引(半額)を開始したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 49.0% | <u>46.7%</u> | 51.3% | 95.3% | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | <u>37.9%</u> | 39.0% | 99.7% | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 36 | 羽島 | 大垣駅前 | 市民病院前 | 岐阜羽島駅 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 47,000人 | 58,971人 | 54,031人 | 125.5% | 人件費及び燃料費の増加。 | 事業者と沿線の多治見市が協力し、継続して屋間運賃の割引制度の実施・周知を行い、利用促進及び収入の増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 56.0% | 56.9% | 58.4% | 101.6% | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | <u>37.9%</u> | 39.0% | 99.7% | | |

協議会名：岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名：地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | |
|---------------|---|------------|-------|--------------|-------------------------|-----------|---|-----|-------------|----------|-----------------|----------|-------------------------|---|
| | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | | | 【参考】H28実績 | 達成率 | 理由等分析 | | | | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 37 | 岐阜 | 若森車庫前 | 大垣駅前 | 岐阜聖徳学園大学 | ○ | A | C | ① 利用者数(人/年) | 216,000人 | <u>213,389人</u> | 212,401人 | 99% | <ul style="list-style-type: none"> ・運転者の待遇改善や募集採用にかかる経費及び燃料費が増加。 ・定期利用者が減り、利用者数が減少。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 57.0% | <u>50.3%</u> | 56.7% | 88.2% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 40.0% | <u>38.5%</u> | 40.0% | | | | 96.3% | | | | | |
| 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | | | | | | | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 38 | 海津 | 大垣駅前 | 今尾 | 海津市役所 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 94,000人 | 105,925人 | 105,526人 | 113% | <ul style="list-style-type: none"> ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・沿線市町(大垣市、輪之内町、養老町、海津市)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 47.0% | <u>46.7%</u> | 54.5% | 99.4% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | <u>37.9%</u> | 39.0% | | | | 99.7% | | | | | |
| 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | | | | | | | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 39 | 海津 | 大垣駅前 | 市民病院前 | 今尾 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 81,000人 | 86,329人 | 85,573人 | 107% | <ul style="list-style-type: none"> ・事業者において、運転免許自主返納者の運賃割引(半額)を開始したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 43.0% | <u>42.2%</u> | 48.3% | 98.1% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | <u>37.9%</u> | 39.0% | | | | 99.7% | | | | | |
| 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | | | | | | | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 40 | 輪之内 | 大垣駅前 | 市民病院前 | 輪之内文化会館 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 154,000人 | 172,827人 | 161,833人 | 112% | <ul style="list-style-type: none"> ・沿線市町(大垣市、輪之内町)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 ・事業者において、運転免許自主返納者の運賃割引(半額)を開始したところであり、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 69.0% | 69.3% | 73.1% | 100.4% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | <u>37.9%</u> | 39.0% | | | | 99.7% | | | | | |
| 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | | | | | | | | |
| 名阪近鉄バス(株) | 41 | 大垣大野 | 総合庁舎 | 市民病院前 | 大野バスセンター | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 134,000人 | 141,227人 | 141,661人 | 105% | <ul style="list-style-type: none"> ・沿線市町(大垣市、神戸町、大野町)の運行経費補助の継続により路線の維持に努める。 ・事業者において運転免許自主返納者の運賃割引(半額)を開始したほか、大野町内にて整備中の道の駅に乗り入れ開始予定であり、沿線の大野町による高校生の定期券補助の継続も含め、事業者と沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 77.0% | <u>64.1%</u> | 75.0% | 83.2% | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 38.0% | <u>37.9%</u> | 39.0% | | | | 99.7% | | | | | |
| 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | | | | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|------------|---|---------------|------------|-------------|-------------------------|-----------|---|-------|-------------|-------------|----------|----------|-------------------------|---|--|
| | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | | | 【参考】H28実績 | 達成率 | 理由等分析 | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 42 | 神岡高山 | 濃飛バス神岡営業所 | 古川駅前 | 高山濃飛バスセンター | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 177,000人 | 178,075人 | 169,106人 | 101% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | 平成29年9月14日から事業者がグルメサイト「ヒトサラ」とタイアップし、高山市内の幹線バス路線にある飲食店を紹介する特集ページを開設(バス利用者は飲食店でサービスあり)したところであり、事業者、沿線自治体及び地域が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ○ | ② 事業の収支率(%) | 69.0% | 67.7% | 67.4% | | |
| | | | | ○ | ③ 定期利用率(%) | 76.0% | 70.7% | 72.5% | 93% | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 43 | 高山古川 | 高山濃飛バスセンター | 国府駅前 | 古川駅前 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 94,000人 | 184,268人 | 193,872人 | 196% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | 平成29年9月14日から事業者がグルメサイト「ヒトサラ」とタイアップし、高山市内の幹線バス路線にある飲食店を紹介する特集ページを開設(バス利用者は飲食店でサービスあり)したところであり、事業者、沿線自治体及び地域が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ○ | ② 事業の収支率(%) | 62.0% | 67.2% | 71.9% | | |
| | | | | ○ | ③ 定期利用率(%) | 88.0% | 77.5% | 74.4% | 88% | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 44 | 高山古川 | 高山濃飛バスセンター | 久美愛病院前 | 古川駅前 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 58,000人 | 64,266人 | 60,442人 | 111% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | 平成29年9月14日から事業者がグルメサイト「ヒトサラ」とタイアップし、高山市内の幹線バス路線にある飲食店を紹介する特集ページを開設(バス利用者は飲食店でサービスあり)したところであり、事業者、沿線自治体及び地域が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ○ | ② 事業の収支率(%) | 68.0% | 62.8% | 59.1% | | |
| | | | | ○ | ③ 定期利用率(%) | 25.0% | 29.2% | 38.7% | 117% | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 45 | 高山下呂 | 高山濃飛バスセンター | 小坂町 | 下呂バスセンター | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 231,000人 | 167,842人 | 227,506人 | 73% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | 平成29年9月14日から事業者がグルメサイト「ヒトサラ」とタイアップし、高山市内の幹線バス路線にある飲食店を紹介する特集ページを開設(バス利用者は飲食店でサービスあり)したところであり、事業者、沿線自治体及び地域が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ○ | ② 事業の収支率(%) | 61.0% | 53.6% | 71.0% | | |
| | | | | ○ | ③ 定期利用率(%) | 56.0% | 70.3% | 65.0% | 126% | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 46 | 下呂加子母 | 下呂バスセンター | 舞台峠 | 加子母総合事務所前 | ○ | A | B | ① 利用者数(人/年) | 62,000人 | 42,562人 | 50,941人 | 69% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・輸送量が15.3人と将来的に補助対象となる下限15人を下回る可能性がある。 ・沿線の中津川市及び下呂市において地域公共交通網形成計画を策定であり、事業者及び沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく必要がある。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ○ | ② 事業の収支率(%) | 75.0% | 49.3% | 57.5% | | |
| | | | | ○ | ③ 定期利用率(%) | 86.0% | 90.6% | 87.4% | 105% | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 47 | 高山牧 | 高山濃飛バスセンター | 西高校前/久美愛病院前 | 牧 | ○ | A | C | ① 利用者数(人/年) | 36,000人 | 20,938人 | 37,889人 | 58% | ・人口減少により高山市内へ通学する白川村の高校生数が減少及び外国人観光客の減少。 ・燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | 平成29年9月14日から事業者がグルメサイト「ヒトサラ」とタイアップし、高山市内の幹線バス路線にある飲食店を紹介する特集ページを開設(バス利用者は飲食店でサービスあり)したところであり、事業者、沿線自治体及び地域が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | | | | ○ | ② 事業の収支率(%) | 69.0% | 54.5% | 95.1% | | |
| | | | | ○ | ③ 定期利用率(%) | 39.0% | 36.6% | 35.4% | 94% | | | | | | |

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|------------|---|---------------|-----------|--------------|-------------------------|---|---|----|-------------|---------|----------------|---------|-------------------------|---|--|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | 達成率 | | 理由等分析 | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 48 | 下呂小坂湯屋 | 下呂バスセンター | 小坂駅前 | 鹿山 | 沿線の下呂市において、住民ニーズ等の調査を行い、現状把握に努めた。 | A | C | ① 利用者数(人/年) | 67,000人 | <u>40,153人</u> | 54,898人 | 60% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | ・輸送量が15.1人と将来的に補助対象となる下限15人を下回る可能性があり、県協議会における協議対象路線に選定する。 ・沿線の中津川市及び下呂市において地域公共交通網形成計画を策定であり、事業及び沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組みながら、今後の在り方を考えていく必要がある。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 53.0% | <u>46.7%</u> | 52.3% | | | | 88% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 55.0% | <u>50.0%</u> | 64.9% | | | | 91% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 49 | 神岡猪谷 | 濃飛バス神岡営業所 | 飛驒市民病院 | 猪谷駅 | 沿線の飛驒市内の路線バスとコミバスが1日乗り放題になる1日乗車券、65歳以上の飛驒市在住者対象の一定期間乗り放題になる定期券の販売を開始し、路線バス・コミバス一体で利用促進に努めた。 | A | C | ① 利用者数(人/年) | 8,000人 | <u>6,668人</u> | 5,704人 | 83% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | ・輸送量が3.3人と補助対象となる下限15人を大きく下回っており、平成31年度に飛驒市再編実施計画が終了することに伴い補助対象外となる見込み。 ・利用促進・収入増加に向けた取組と併せて、今後の存続の在り方を検討していく必要がある。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 20.0% | <u>16.7%</u> | 14.3% | | | | 84% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 9.0% | <u>5.9%</u> | | | | | | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 濃飛乗合自動車(株) | 50 | 吉田 | 濃飛バス神岡営業所 | 旧奥飛驒温泉口駅 | 流葉スキー場 | 事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を開始し、路線バス・コミバス一体で利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 1,450人 | 14,904人 | 19,559人 | 1,028% | ・平成31年度に飛驒市再編実施計画が終了することに伴い、単一市町村を運行する路線であるため補助対象外となる。 ・利用促進・収入増加の取組と併せて、今後の存続の在り方を検討していく必要がある。 | |
| | | ② 事業の収支率(%) | 20.0% | 29.7% | 34.3% | | | | 149% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 47.0% | <u>18.4%</u> | | | | | | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 北恵那交通(株) | 51 | 加子母 | 中津川駅 | 付知峡倉屋温泉 | 加子母総合事務所 | 事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を開始し、利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 77,000人 | <u>70,892人</u> | 62,637人 | 92% | 左記企画切符の利用者増により対前年度比では地用者数が増加。 ・燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | 事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を継続するなど、事業者及び沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 |
| | | ② 事業の収支率(%) | 76.0% | <u>70.6%</u> | 76.2% | | | | 92.9% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 61.0% | 65.8% | 60.4% | | | | 107.9% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 北恵那交通(株) | 52 | 付知峡倉屋温泉 | 中津川駅 | 下付知 | 付知峡倉屋温泉 | 事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を開始し、利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 59,000人 | 71,430人 | 62,637人 | 121.1% | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を継続し、また、中津川駅から沿線の温泉施設までの乗車券と利用券のセット券の利用可能バス停拡大を検討しており、事業者及び沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく。 | |
| | | ② 事業の収支率(%) | 62.7% | 78.3% | 76.2% | | | | 124.9% | | | | | | |
| | | ③ 定期利用率(%) | 57.0% | 57.1% | 60.4% | | | | 100.2% | | | | | | |
| | | 車両減価償却費等国庫補助金 | | | | ○ | | | | | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | | |
|------------|---|--------|-------|--------|-------------------------|--|---|----|-------------|---------|-----------|---------|-------------------------|---|---|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | 達成率 | | 理由等分析 | |
| 北恵那交通(株) | 53 | 坂下 | 中津川駅 | 落合 | 坂下駅 | 事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を開始し、利用促進に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 38,000人 | 40,179人 | 38,442人 | 106% | 燃料費や老朽化した車両の更新費用が増加。 | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・平均乗車密度が2.2人と、補助対象経費のカット対象外となる基準5人を大きく下回っているため、事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を継続するなど、事業者及び沿線自治体が協力して利用促進及び収入増加に取り組んでいく必要がある。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 52.0% | 49.7% | 56.1% | 95.6% | | |
| ③ 定期利用率(%) | 5.0% | 11.8% | 5.2% | 236.0% | | | | | | | | | | | |
| 北恵那交通(株) | 54 | 馬籠 | 中津川駅 | 落合 | 馬籠 | 事業者において、小中高校生が学校休校日に一日500円で全路線が乗り放題になる一日乗車券の販売を開始し、利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 35,000人 | 43,717人 | 35,983人 | 125% | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・県内有数の観光地の一つである馬籠を訪れる欧米の個人旅行者が増え、事業者や沿線自治体などが協力して利用促進に取り組んでいく必要がある。 | |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 60.0% | 75.8% | 56.0% | 126.3% | | |
| ③ 定期利用率(%) | 0.0% | 2.5% | 0.9% | 0.0% | | | | | | | | | | | |
| (株)白鳥交通 | 55 | 郡上八幡白鳥 | 八幡駅前 | 中坪 | 郡上白鳥 | FacebookやLINEでダイヤ改正や遅延情報などの提供を開始し、利便性向上に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 79,000人 | 63,705人 | 63,630人 | 81% | 平成27年度に沿線の郡上高校の1クラス減ったため、平成27年度実績には届いていない。 | 事業者において、高校生へのニーズ調査を実施し、部活動終了後に利用できるよう時刻表の改正を行ったところであり、事業者や沿線自治体などが協力して利用者の大半を占める市内の高校生の利便性向上及びバス利用者の増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 49.0% | 46.3% | 49.3% | 94% | | |
| ③ 定期利用率(%) | 56.0% | 62.9% | 63.0% | 112.3% | | | | | | | | | | | |
| (株)白鳥交通 | 56 | 郡上八幡万場 | 八幡駅前 | 万場 | 郡上白鳥 | 利用の少ない昼間の減便及び賃率見直しにより、利用者の利便性を損なわずかつ持続可能な水準で路線を維持できるよう改善した。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 40,000人 | 17,015人 | 13,493人 | 43% | 対前年度比では利用者が増加。 | ・県協議会における協議対象路線に選定しており、現在、利用実態等を調査しているところ。 ・平成30年度は国庫補助対象外となるが、左記の見直しにより、輸送量が15.6人となり、平成31年度は再び国庫補助対象となる。 ・事業者において、高校生へのニーズ調査を実施し、部活動終了後に利用できるよう時刻表の改正を行ったところであり、上記の郡上八幡白鳥線とあわせ、利用者の大半を占める市内の高校生の利便性向上及びバス利用者の増加に取り組んでいく。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 30.0% | 47.9% | 16.7% | 160% | | |
| ③ 定期利用率(%) | 60.0% | 62.9% | 71.0% | 104.8% | | | | | | | | | | | |

協議会名: 岐阜県地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 (申請番号、路線名、起点、経由地、終点、車両減価償却費等国庫補助金の交付(あり=○、なし=×)) | | | | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 ※目標値は平成27年度実績を基に設定、目標未達成項目は下線 | | | | | | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) | |
|----------------------------|---|-----------|-----------|---------|-------------------------|---|---|----|-------------|---------|-----------|---------|---|--|
| | | | | | | | 評価 | 指標 | 目標 | H29実績 | 【参考】H28実績 | 達成率 | | 理由等分析 |
| 【自主運行バス(岐阜市)】 (株)日本タクシー | 57 | 373バス | 県総合医療センター | イオン各務原店 | 県総合医療センター | 岐阜市においてバスフェスタの開催や学校教育モビリティ・マネジメントなどを実施し、意識向上及び利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 23,000人 | 23,789人 | 23,300人 | 103% | |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 23.0% | 33.0% | 29.8% | 143.5% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | | | | | |
| 【自主運行バス(岐阜市)】 (株)日本タクシー | 58 | 境川らくちゃんバス | 名鉄柳津駅 | カラフルタウン | 名鉄柳津駅 | 岐阜市においてバスフェスタの開催や学校教育モビリティ・マネジメントなどを実施し、意識向上及び利用促進に努めた。 | A | A | ① 利用者数(人/年) | 16,000人 | 19,325人 | 16,990人 | 121% | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を中心に組織した運営協議会において、利用促進及び広告収入の確保により収支改善に取り組んでいく。 ・需要を見込み、歯医者前にバス停を移設した。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 15.0% | 21.1% | 21.8% | 140.7% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | | | | | |
| 加越能バス(株) | 59 | 城端白川郷 | 城端駅前 | 西赤尾 | 白川郷 | 事業者において、「Free Wi-Fi」の設置や沿線の南砺市の要望により土日祝を3便増便し、利便性の向上に努めた。 | A | B | ① 利用者数(人/年) | 46,000人 | 62,141人 | 55,278人 | 135% | 人口減少等による学生の利用者数の減少。 |
| | | | | | | | | | ② 事業の収支率(%) | 70.0% | 71.0% | 83.6% | 101% | |
| | | | | | | | | | ③ 定期利用率(%) | 2.0% | 1.5% | 1.0% | 75.0% | |
| | | | | | | | | | | | | | 世界遺産白川郷等への観光誘客及び収入増加に取り組み、白川村から富山県にある南砺平高校への通学等、沿線地域住民の生活に必要な交通手段を維持していく。 | |

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成30年1月18日

| | |
|-----------------------------|--|
| 協議会名: | 岐阜県地域公共交通協議会 |
| 評価対象事業名: | 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | <p>岐阜県は、広大な面積を有する反面、可住地面積は県土の20.7%に限られ、それが点在する形であるため、旅客流動の約90%が自家用乗用車であり、また1世帯当たりの自動車保有台数は1.61台で全国7位(H27.3末時点)という数字に表されるように、全国に比して移動手段を自家用乗用車に依存している。</p> <p>県内乗合バス事業者は、非常に厳しい経営環境の中におかれながら、人件費の抑制等による徹底した経費削減、公的責任感に基づく内部補助によって、地域の公共交通を維持してきた。</p> <p>しかし、事業者単独で乗合バス事業を維持するのは困難な状況であり、地域住民の移動手段を維持確保するためには、公的支援が不可欠な状況である。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、8事業者59系統を確保することで、地域住民の移動手段を存続させていくことが必要である。</p> |